

香取の障がい者と雇用

～香取の年輪ネットワーク創り～
第14号

社会福祉法人ロザリオの聖母会
障害者就業・生活支援センター
香取就業センター

〒287-0101

千葉県香取市高萩1100-2

TEL 0478-79-6923

FAX 0478-75-1688

E-mail katori-sc@rosario.jp

障害者就業・生活支援センター香取就業センター 事務所移転のお知らせ!!

住所

〒287-0101

千葉県香取市高萩1100-2(高萩福祉センター内) ※ 旧高萩小学校跡

連絡先

TEL : 0478-79-6923 / FAX : 0478-75-1688



平成25年7月1日より事業を開始させていただく運びとなりました。引き続きよろしくお願い致します。今後もお気軽にお越し頂ければと思います!!

初夏の候、日頃より皆様方にはお世話になり厚く御礼申し上げます。

私達、香取就業センターは平成25年6月を持ちまして、これまでお世話になっていた多古町より移転させて頂きました。

多古町にて事業を開始し2年2カ月、町の皆様方との繋がりを持たせて頂きながら活動できた事にスタッフ一同心より感謝申し上げます。

私達が多古町で事業活動していた中で特に感じた地域性について、お礼の気持ちを添えて書かせて頂きます。

広大な田園風景や色鮮やかに立ち並ぶアジサイの色どり、人と人とのつながりを大切にされている方が多く、お隣さん同士や、町の皆様の声かけをし合う姿がたくさんありました。また、夏の祭礼やアジサイ祭り等、その季節に合せたイベントを盛大に行われていた事が印象的でした。多古町の文化を守りつつ時代に合せた新たな取組みを考えていく事等…。私達の日々の活動において大切な「人の繋がり」を多古町から学ばせて頂く事がたくさんありました。

これからも多古町の振興と発展を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます。これまでお世話になった多古町の皆様方には感謝の気持ちを忘れる事なく、新天地でも企業様、相談者様等のニーズに応えられる様に努力して参りたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

社会福祉法人ロザリオの聖母会 地域サービス事業部
障害者就業・生活支援センター香取就業センタースタッフ一同



平成25年度 ネットワーク強化・充実事業 第1回 障がいのある方の雇用と就業に関しての 地域意見交換会 In 多古

日時：
平成25年6月14日(金)
13:30～16:30
場所：
多古町コミュニティプラザ
千葉県多古町多古2855
人数：
参加者 88名 講師4名
スタッフ 9名 合計 101名

1、地域意見交換会の目的

- ◎海匝・香取圏域において先駆的に障害者雇用をする企業の取組みを学ぶ。
- ◎海匝・香取圏域の顔の見えるネットワーク創り。
- ◎企業と支援機関の出会いの場となり、障害者雇用の支援システムを構築。

2、講師

キューピータマゴ東京ブロック成田工場	工場長 松山 秀樹 氏
キューピータマゴ管理本部総務部	永野 光祐 氏
社会福祉法人生活クラブ風の村デイサービスセンターなりた	所長 山根 佳子 氏
医療法人社団寿光会栗源病院	事務長 川島 知紗 氏



3、障害者就業・生活支援センター活動報告 香取就業センター / 東総就業センター

香取就業センターの支援体制や活動内容と、就職件数等について報告をさせて頂きました。平成24年度における香取就業センターの支援件数(来所、電話対応、職場訪問、家庭訪問)は合計4,559件でした。就職件数は43件、職場実習斡旋件数は37件となりました。また、平成23年度就職者の職場定着率は73.4%となりました。

4、障害者雇用実践報告

キューピータマゴ東京ブロック成田工場

社是“楽業偕悦“(仕事を楽しくて喜びを分かち合う)の企業理念を基に従業員同士の助け合いの気持ちを大切にしています。今後の障害者雇用に関する取組みは、支援機関や企業等との見学会等を開催し、雇用促進に努めていきたいと考えています。

社会福祉法人生活クラブ風の村デイサービスセンターなりた

ユニバーサル就労を実施しています。ユニバーサル就労とは、働きたくても精神的・社会的要因等により、働く事に困難を抱える人に対し、必要な支援をうけながら就労する為のシステムです。障がいの有無に関わらず誰にとっても働きやすい「ユニバーサルな職場環境」を実現されています。

医療法人社団寿光会 栗源病院

障害者雇用に至るまでの経緯をご紹介頂きました。職場見学会を実施した事や、働く従業員へ障がいについて理解する為の勉強会を実施されています。その後、職場実習を行い雇用された経緯について御講演頂きました。『自社に障がいのある方が働けるポジションが必ずある。』と考え、障がいのある方の雇用をすすめています。

5、意見交換会

精神障害ある方の就労支援、企業の求める人物像、雇用継続できない事例と福祉との連携についてなどの活発な意見交換がありました。精神障がいのある方の受入れについては、制度を活用する事や、目標設定の重要性を確認しました。また、企業として求める人物像についての質問には、“「働きたい」というやる気のある方!!”と言う力強いお返事を頂いております。また、雇用継続が難しくなってしまうとその方を支え続けられる様に、企業と福祉の連携の必要性について改めて確認できました。

まとめ

今回の地域意見交換会は、ハローワーク佐原、ハローワーク銚子、香取特別支援学校、八日市場特別支援学校、銚子特別支援学校様より御後援等のお力添えを頂いた事に心より御礼申し上げます。

地域意見交換会は平成23年の香取就業センター開設以降毎年2回開催しています。これからも就労支援に携わる多くの方が関心を寄せる企画を作りたいと思います。今回の地域意見交換会にて、『障害者雇用実践報告』をされた講師の方の周りに参加された方が集まって名刺交換をされていました。新しいネットワークを作る事ができたのではないかと思います。この繋がりが次回の活動に変えてこそ地域意見交換会の意味が始めて生まれると考えています。

《編集コラム》

平成二十五年年度二回目のニュースレターは、第十四号を数える形となります。今回は、開設以来お世話になっていた多古町より事務所移転の案内をさせて頂きました。多古町の皆様方には深く感謝の意を申し上げます。

今後においても香取市で事業をさせて頂く中で地域の皆様への敬意を忘れる事無く、活動していききたいと考えております。

香取市は山林・農村地帯であり、千葉県の野菜の出荷量全国一位の中核的な存在です。また、佐原地区の風情ある町並みは、『重要伝統的建物群保存地区』として国から指定を受けております。自然と歴史、文化に彩られた地域です。

今後も、地域の皆様方からの御指導頂きながら香取就業センターも更に成長したいと考えています。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ致します。

香取就業センター
スタッフ一同

